



令和2年3月

米沢市文化財年報 No.32

米沢市教育委員会



▲桐ノ木遺跡遠景写真（北西から撮影）

桐ノ木遺跡（県遺跡番号 202 - 692）は、米沢市窪田町窪田地内に位置する、古墳時代後期（6世紀）と中世（16世紀）の二つの時期からなる複合遺跡です。発掘調査は、第1次調査として、（仮称）窪田防災センター整備に伴い、平成31年4月8日～令和元年6月28日、第2次調査として、市道窪田小東廻り線道路改良舗装工事に伴い、令和元年8月19日～9月27日にかけて実施しました。調査面積は、第1次調査が1,700㎡、第2次調査が420㎡となっています。

調査では、古墳の周溝や祭祀遺構、区画溝で囲まれた中世の屋敷地が確認されるなど、大きな成果をあげることができました。

桐ノ木遺跡の発掘調査については、文化財事業特集のページ（P6～）で詳しく紹介しています。



▲古墳時代の土器



▲中世の内耳土鍋

一般文化財事業

今年度の一般文化財事業では、例年以上に多岐にわたる事業に取り組みました。以下、特に重点を置いた事業について紹介します。

【国指定史跡上杉治憲敬師郊迎跡（普門院本堂）保存修理事業】

上杉治憲敬師郊迎跡は、米沢藩を復興させた「名君」として知られる上杉治憲（鷹山公）が師の細井平洲先生を郊迎した地として、昭和10年に国の史跡となりました。本年度は普門院本堂工事の1年目で、素屋根の設置と解体工事を中心に進め、昨年度に完成した普門院庫裏の修理報告書も刊行しました。



▲完成した普門院庫裏見学会



▲普門院本堂（解体工事を行った屋根）

【文化財の修理】

本市が所有する国重要文化財太刀銘一（号姫鶴一文字）の拵の修理を行いました。

また、上杉神社所有の国重要文化財服飾類・明冠服類と西明寺所有の市文化財木造十一面観音坐像の修理を開始しました。それぞれ国・県・民間財団などの補助・助成を受けながら、複数年での修理を予定しています。



▲木造十一面観音坐像修理

【文化財の新指定・登録】

林泉寺の墓地が「林泉寺米沢藩上杉家及び家臣団墓所」として県指定史跡に指定されました。また、門東町の米沢織物の機屋であった旧遠万織物主屋・前蔵・新蔵の3件が国登録文化財の答申を受けました。登録には昨年度の米沢工業高校の生徒たちの課題研究の成果が活用され、大きな話題となりました。



▲林泉寺米沢藩上杉家及び家臣団墓所



▲旧遠万織物（創匠庵）主屋

【萬世大路が未来に伝える山形の宝に登録】

歴史の道土木遺産萬世大路保存会^{ばんせいたいろ}の取り組みが「萬世大路 山形の近代化の礎となった明治日本における最先端の土木産業遺産」として、未来に伝える山形の宝に登録されました。今後は、山形県・米沢市も協力しながら活用を図っていきます。



▲萬世大路（栗子隧道）

【塩井神社のエノキ市指定解除】

塩井神社のエノキは、樹齢 250 年以上の古木であり、平成 9 年に市指定天然記念物となりました。近年は樹勢の衰えが顕著であり、現状変更で枯死した枝を伐採するなど、所有者が手を尽くしてきました。今年度になり樹木全体が大きく傾き、危険木となったため、専門家の判断もあり、指定解除の手続きを行い、伐採されました。天然記念物保護の難しさを改めて痛感した出来事でした。



▲塩井神社のエノキ



▲文化庁文化財調査①（法音寺）



▲文化庁文化財調査②（米沢市上杉博物館）



▲笹野観音堂茅葺ワークショップ&講演会



▲木造伝大日如来坐像クリーニング

今年度は、普門院本堂保存修理工事に着手し、修理を検討していた服飾類・明冠服類と木造十一面観音坐像の保存修理を開始しました。また、来年度の事業として上杉神社所有の鍔やり（城州埋忠作）と上杉家所有の長尾上杉氏印章の保存修理の実施が決まるなど指定文化財保存の道筋がつけられた一方で、市天然記念物塩井神社のエノキが指定解除となってしまいました。上記の他、例年どおり、市指定史跡直江石堤の草刈・雑木除去や国・県指定文化財への管理補助事業、民俗文化財への支援、文化財指定候補の調査なども引き続き実施しています。

今後とも、文化財保護へのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

埋蔵文化財事業

今年度の重点事業は、桐ノ木遺跡の発掘調査と、大南遺跡の調査成果をまとめた報告書の刊行があります。この他、館山城跡や戸塚山古墳群などの史跡案内、博物館などへの遺物の貸出、発掘調査説明会の開催などを行いました。以下、主な事業について紹介します。

【大南遺跡緊急発掘調査受託事業】

平成 28・29 年度に浅川最終処分場整備事業に伴う緊急発掘調査を実施した大南遺跡は、今年度調査報告書を刊行し、4 年に及ぶ事業が終了となります。この他、木造僧形神立像もくぞうそうぎやうしんりゆうぞうのレプリカや展示パネルを作成しましたので、来年度は千代田クリーンセンターなどで調査成果の展示を実施する予定です。



▲レプリカ作成データ採取の三次元計測風景

【市内遺跡発掘調査事業】

埋蔵文化財に関する発掘届及び分布調査の依頼件数は、今年 2 月 28 日現在 52 件で、このうち 2 件で緊急発掘調査を実施しました。

個人住宅建設に伴う米沢城跡（県遺跡番号 202 - 483）の発掘調査（第 17 次）では、米沢城三の丸の西側にあたる地点で、中・近世の遺構・遺物を発見しました。中世は 16 世紀代の内耳土鍋ないじどなべや瀬戸美濃産陶器せとみのが出土しており、史資料が乏しく不明な部分が多い伊達氏時代の城下の広がりを確認することができました。



▲米沢城跡第 17 次調査区全景（東から撮影）

【埋蔵文化財の活用】

今年度は、山形県立博物館、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館、新潟県津南町の農と縄文の体験実習館「なじよもん」での特別展に、米沢市内の遺跡から出土した遺物の貸出を行いました。また、大学や地方公共団体等で考古学の調査・研究をしている専門家に対し、米沢市内の遺跡出土の遺物について資料を提供するなど、調査・研究に協力しました。



▲「なじよもん」貸出遺物



▲専門家による調査・研究への資料提供

【発掘調査現地説明会の開催】

今年度は、桐ノ木遺跡の発掘調査に合わせ、6月23日に発掘調査の成果を報告する発掘調査現地説明会を開催しました。説明会には、60名を超える多くの市民や考古学ファンが参加し、調査担当者による調査成果の説明・報告に熱心に耳を傾けていました。今後も、大規模な発掘調査を行った際は、調査成果を報告する現地説明会を開催していきます。



▲桐ノ木遺跡の発掘調査現地説明会①



▲桐ノ木遺跡の発掘調査現地説明会②

【市内小学校との協力】

また、米沢市内の小学校の課外授業として、桐ノ木遺跡の発掘調査現場が活用されました。5月22日に関小学校の児童による発掘調査体験、6月19日は窪田小学校の全校児童による発掘調査現場見学がありました。

関小学校の発掘調査体験では、実際の調査で使用する道具を使い、遺構の掘り下げや遺物の取り上げといった発掘調査の仕事を身近に体験することができました。特に、遺構を掘り下げたあと、土の中から本物の遺物が出土した時の児童の感動・笑顔は^{ひとしお}一入でした。

窪田小学校の現場見学では、児童が学校から見える発掘調査現場に実際に足を運ぶことで、発掘調査ではどんな作業を行っているのか、こういった遺構・遺物が出ているのか、いつの時代の遺跡なのかといった疑問点を直接見る・聞くことができました。どの児童も調査担当者の説明を熱心に聞き、学校の隣に広がる遺跡について学ぶことで、地域の歴史に興味を持ってもらえる、とても良い機会になりました。



▲関小学校の発掘調査体験

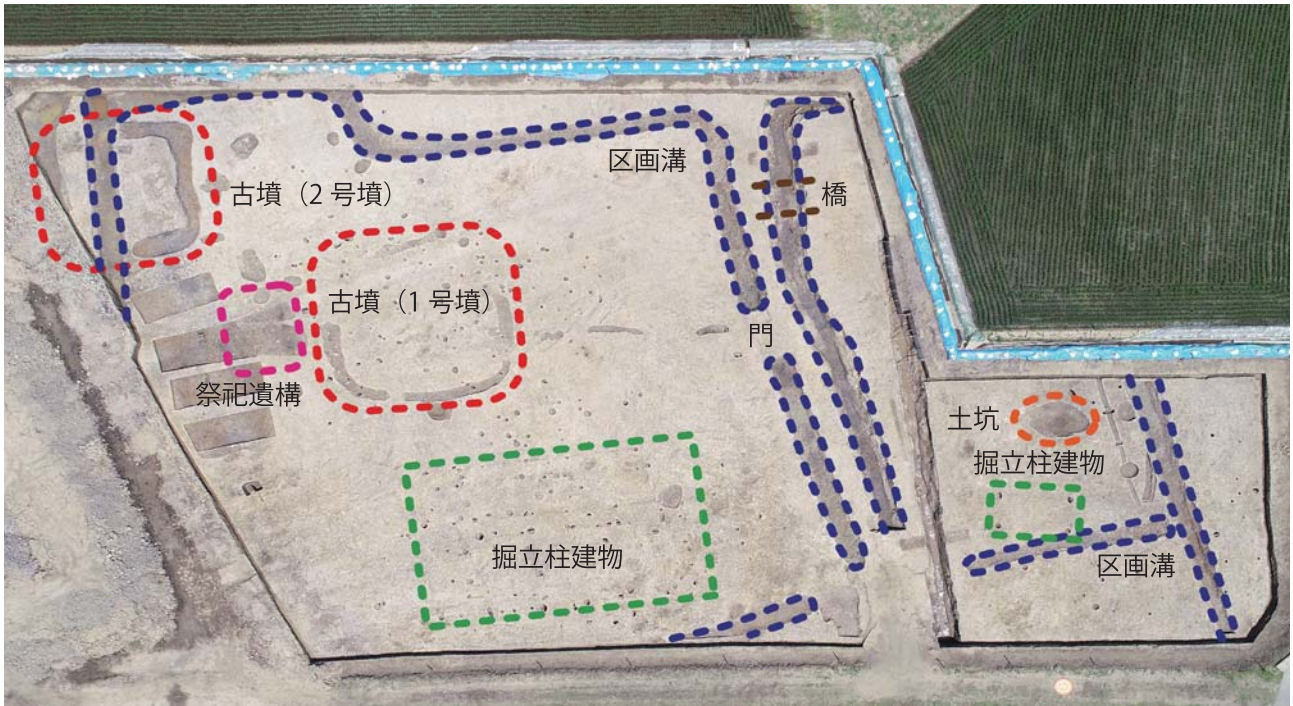


▲窪田小学校の発掘現場見学

以上、今年度は、桐ノ木遺跡の発掘調査・整理作業、大南遺跡の整理作業を計画的に進め、可能な限り活用事業にも取り組みました。来年度は、桐ノ木遺跡の第3次発掘調査を皮切りに、休止となっていた館山城跡の保存整備事業も再開します。今年度の事業に御協力を賜りました関係者の皆様にお礼申し上げるとともに、今後も変わらぬ文化財保護への御理解と御協力をお願いいたします。

《第8回 文化財事業特集：桐ノ木遺跡の発掘調査》

特集では、今年度発掘調査を実施した、桐ノ木遺跡の発掘調査の概要を紹介しします。本遺跡は、米沢市北部の窪田地区、米沢市立窪田小学校の東隣に位置しています。米沢市で整備を進める（仮称）窪田防災センター及び市道窪田小東廻り線道路改良舗装工事に伴う発掘調査として、防災センター部分は今年度、市道部分は今年度と令和2年度の2カ年で調査を行うこととなります。今回は、防災センター整備に伴う第1次発掘調査について紹介しします。



▲桐ノ木遺跡調査区全景（左が北）

○古墳時代の桐ノ木遺跡 ～古墳と祭祀遺構～

古墳時代の特筆される遺構としては、古墳の周溝（古墳の周りに掘られた溝）と祭祀遺構が検出されたことがあげられます。年代は、出土した土器の特徴から、古墳時代後期の6世紀代と考えられます。

古墳は2基確認されましたが、いずれも墳丘（古墳の盛土）や主体部（被葬者が埋まっている場所）は後の時代に削平を受け、確認することはできませんでした。また、周溝も上面は削平を受けて、下面のみの確認となりましたが、祭祀遺構が隣接する周溝北側の底面からは多くの土器が比較的良好な状態で出土しました。古墳は、1号墳は南北12m、東西11mの方墳です。2号墳は東西9.5mですが、南北については中世の区画溝で確認できませんでした。形状は1号墳と同様に方墳です。遺物の出土はありませんでした。

祭祀遺構は、1号墳の北側に隣り合って検出されました。古墳と同様に遺構の上面は削平されていましたが、下面及び底面からは、意図的に割られたと思われるバラバラになった大量の土器片が出土しました。また、管玉・丸玉といった玉類が出土しました。バラバラになった土器片や玉類の出土を考えると、古墳の前で何らかの祭祀が執り行われた痕跡と考えることができます。



▲1号墳完掘写真（上が南）

その他の主な古墳時代の遺構としては、調査区南側で検出された大型の土坑（穴）があります。土坑は、長径 350cm、短径 240cm の楕円形をしており、土師器の坏・高坏・甕・壺といった土器類が多く出土しました。廃棄遺構（捨て場）と思われます。また、古墳時代の遺構外からですが、特異な土器片が一点出土しました。詳細については今後の検討課題ですが、「埴輪」か「カマド形土器」の一部と考えています。



▲周溝内遺物出土状況



▲周溝内出土遺物



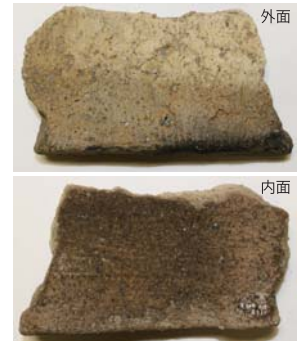
▲祭祀遺構内遺物出土状況



▲管玉出土状況



▲土坑内遺物出土状況



▲特異な形状の土器片

○中世の桐ノ木遺跡 ～区画溝で囲まれた屋敷跡～

中世の調査成果としては、区画溝で囲まれた屋敷地が確認されたことがあげられます。屋敷地からは、母屋と推定できる大型の建物跡が1棟、小規模な建物跡が1棟、屋敷地への出入口となる門跡がそれぞれ確認されました。注目されるのは、屋敷地を区切る区画溝で、それぞれの溝同士が平行関係や線対称、溝を伸ばすと直線上に重なったりと、規則的に作られていることがわかりました。

遺物としては、溝の中から内耳土鍋や漆器の椀、火鉢か香炉と思われる瓦質土器片がそれぞれ出土しました。屋敷地の年代は、米沢周辺を伊達氏が治めていた16世紀代と思われます。



▲屋敷地遠景（上が北）



▲区画溝コーナー部近景



▲(上) 漆器・(下) 瓦質土器片

○調査成果の活用について

調査成果については、現地説明会の開催や小学校の課外学習への協力に加え、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館で令和2年2月9日に開催された考古資料館・山形考古学会主催の「考古資料検討会」で調査報告を行いました。また、出土遺物については、順次公開展示していく予定です。

令和元年度 米沢市文化財関係事業

| 区 分 | 令和元年度の重点事項 | 令和元年度の主な事業 |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 文化財共通 | <ul style="list-style-type: none"> ○事業の記録 ○文化財諮問機関会議の開催 ○文化財行政推進大会への参加 ○文化財の普及・教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・「米沢市文化財年報」No.32 の発行 ・米沢市文化財保護審議会の開催 (第1回 R1.8.1 第2回 R2.3.19 開催予定) ・全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会 (青森県青森市)・山形県史跡整備市町村協議会(南陽市)への参加 ・埋蔵文化財資料室・史跡等の見学対応、出前講座、小学校の課外授業協力 ・博物館等への資料貸出・展示協力 |
| 2. 一般文化財 | <ul style="list-style-type: none"> ○文化財調査 ○文化財の保存・活用 ○指定文化財保存管理の充実 ○指定文化財環境整備の促進 ○文化財後継者の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁市内文化財調査・修理監督指導への協力(法音寺・上杉神社・米沢市上杉博物館等) ・指定文化財及び指定文化財候補の調査 ・文化財巡回指導(国・県指定文化財) ・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」保存修理事業の継続(本堂工事着手、12年目)、報告書第2集刊行 ・国指定文化財「服飾類(上杉謙信、景勝所用)」ほか保存修理事業(1年目) ・国指定文化財「太刀銘一」拵保存修理事業 ・市指定文化財「木造十一面観音坐像」保存修理事業 ・「林泉寺上杉家及び家臣団墓所」が県史跡に指定 ・「旧遠万織物(創匠庵)」が国登録文化財に答申 ・「萬世大路」が未来に伝える山形の宝に登録 ・市指定天然記念物「塩井神社のエノキ」が指定解除 ・文化財防火デー(旧米沢高等工業学校本館火災防御訓練実施) ・笹野観音堂茅葺ワークショップ&講演会への協力(未来に伝える山形の宝事業) ・板谷分校解体に伴う市所有民具整理 ・成島八幡宮所有県・市指定文化財の保存協力 ・県指定文化財「木造伝大日如来坐像」清掃作業 ・国指定史跡・県指定天然記念物管理に係る補助 ・国指定史跡「一ノ坂遺跡」及び市指定史跡「戸塚山古墳群」、同「谷地河原堤防(直江石堤)」の環境整備(草刈・雑木除去等の実施) ・県指定無形民俗文化財「粹山獅子踊り」への補助 ・無形民俗文化財「綱木獅子踊り」への支援 その他、経常的な文化財管理業務等 |
| 3. 埋蔵文化財 | <ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財の調査 ○埋蔵文化財の情報収集及び周知、開発の調整 ○報告書の作成 ○埋蔵文化財の保存・活用・普及 | <ul style="list-style-type: none"> ・浅川最終処分場整備事業に伴う大南遺跡緊急発掘調査受託事業 ・公共事業(防災センター・市道建設)に伴う桐ノ木遺跡緊急発掘調査事業 ・市内遺跡発掘調査事業 ・開発事業の事前協議及び埋蔵文化財包蔵地の試掘調査・分布調査 ・米沢市埋蔵文化財調査報告書114・116～118集の刊行(花沢A・大南・桐ノ木・市内遺跡) ・米沢市埋蔵文化財資料室の維持管理 ・桐ノ木遺跡発掘調査現地説明会の開催 ・山形考古学会(考古資料検討会)での調査報告 ・専門家の調査・研究への協力 |

発行 米沢市教育委員会 教育管理課 文化課 文化財担当
〒992-0012 米沢市金池三丁目1番14号
TEL: 0238-22-5111 (内線7530、7531)
FAX: 0238-21-6020
E-mail: bunkazai-t@city.yonezawa.yamagata.jp